



2024.04

漢方医学センター・

麻酔科

矢数 芳英

## 漢方が効くのはどんな痛み？

### 1. 痛みの2つのタイプ

痛みには様々なタイプがあります。その分類の方法は色々ありますが、大きく「急性の痛み」と「慢性の痛み」の2つに分けることができます。漢方薬はそのどちらにも効果がありますが、より得意な痛みは「慢性の痛み」の方です。

### 2. 慢性の痛みとは？

では慢性の痛みにはどのようなものがあるのでしょうか？ 例えば、腰痛・下肢の痛み・頭痛・様々な神経痛・ケガや手術の後に長引く痛みなどがあります。さらに厄介な原因不明の痛みなども含まれ、これらの痛みがなかなか改善しない人が漢方外来を訪れます。一般的には適切な病院の治療をしていて「痛みが3カ月以上続く」ものが、慢性の痛みと定義されています。こちらが漢方治療の得意とする痛みです。

それぞれの痛みに対応できる漢方薬があるので、医師は患者さんに詳しい問診を行って漢方治療を進めていきます。漢方外来ではメインの症状である痛みだけでなく、その背景に隠れた様々な辛い症状について詳しくたずねることで、これを手がかりにより適切な治療ができるのです。

例えば、「胃腸の調子が悪い、手足の冷えが気になる、ストレスを感じやすい、最近疲れやすい」などのような症状です。漢方治療では痛みだけでなく、これらの辛い症状を同時に改善することが可能です。

### 3. 漢方治療を試してみよう

最後に、漢方治療が向いている痛みの特徴についてお話しします。

- 痛みが気温や気候などに影響されやすい
- 入浴すると痛みがやわらく
- 痛みがストレスや体調で変化する
- 痛みの部位が変わる

これらの特徴が1つでもあったら、これは漢方治療がより適している可能性があります。もちろんこれらの所見が全く無くても慢性の痛みであれば漢方治療の良い適応です。

これまであきらめていた長引く痛みがありましたら、漢方治療を是非一度お試し下さい。